

さくら学園

子ども達のやる気を引き出し
日本語を通して文化を学ぶ

莉愛さん(6歳)、賢士くん(4歳)
保護者:清隆さん、由香子さん

通い始めたのは、長女がキンダーガーデンに入る直前の夏休み、日本語の習得が同年代より遅れていると感じたことがきっかけでした。学園からのアドバイスに従い、夏休み中に個人レッスンを受けた結果、先生から「今までで一番伸びた」と言われるほど劇的に日本語力が伸びました。長男は早い時期から日本語に触れる機会を増やそうと、3歳から通っています。

先生方は教育に対する熱い情熱をお持ちで、子ども達のやる気を引き出す手法に長けています。また学園では、日本語だけでなく日本の年中行事を体験することができ、家庭では教えきれない日本の文化や風習を学べる点も素晴らしいと思います。珠算や書道などのクラスもあるので、子ども達が興味を持てば、同じ場所で習うことができるのも大きな魅力だと思います。

二人とも「学園が大好き」とよく口に、金曜日に「明日はさくら学園の日だね?」と、土曜日の朝には「今日はさくら学園だね?」と聞かれることがお約束になっています。学園で学んだことを目をキラキラと輝かせて話している姿を見ると、あらためて通わせて良かったと思います。



さくら学園

925-924-0307

6650 Owens Dr.

Pleasanton, CA 94588

www.eastbaysakuragakuen.com

・いつから通っておられますか?またきっかけは何でしたか

莉愛は Kindergarten に入る直前の夏休みから通い始めました。きっかけは同学年の子より日本語の習得が遅れているのでは、と感じていたからでした。こちらの希望は対面での個人レッスンでしたが、時期的にパンデミックの最中だったこともあり、色々と問い合わせをしたところ、どの教室も対応していませんでした。そうした中、さくら学園だけが対面での個人レッスンを行っていただけとのこと、通うことになりました。

賢士は、早い時期から家庭以外で日本語に触れる機会を増やそうと、3歳から通い始めました。

・学校(教室)で何を学んでいるかなど

賢士はひらがなを学び始めました。莉愛はひらがな、片仮名から漢字を学ぶ段階に入りました。また、日本語を学ぶ中で、日本の文化や風習も学習しています。家庭でなかなかフォローできない内容もあるので、非常に有り難いです。

・学校(教室)の良い点や魅力を教えてください

まず第一に先生方の質の高さが挙げられます。子供たちへの接し方、教え方などが丁寧に面倒見が良い上に、お一人お一人が教育に対する熱い情熱をお持ちです。また、子供たちのやる気を引き出す手法に長けていることから、指導法にも信頼感があり、家庭での学習もそのアドバイスに基づいて行っています。学校の質=先生の質、だと思いますので、この点は非常に満足しています。

また、学園で日本の年中行事を体験したりすることで、家庭では教えきれない部分において、日本の文化や風習について教えていただける点も素晴らしいと思います。子供たちが目をキラキラと輝かせて「今日、さくら学園で〇〇(お月見、節分の豆まき等)をしたんだよ」と報告してくれる姿を見ると、嬉しさと共に有り難い気持ちになります。

更に、珠算や書道などのクラスもあるので、子供たちが興味を持てば、同じ場所でお世話になることが可能な点も大きな魅力だと思います。

・学校(教室)に通っていることで、なにか変化はありましたか

前述のように莉愛は、さくら学園に通い始めた当初、同年齢の子より、日本語の習得が相当に遅れている状態でした。そこで現状に対する厳しいながらも愛のあるお言葉をいただき、夏休み中に個人指導を受けることにしました。その結果、先生から「今までで一番伸びた」と言われるまで劇的に日本語力が伸びました。本人や先生の頑張りも勿論ですが、この時期、私たち親も自宅で毎日、莉愛の日本語学習をサポートしていました。そして、海外での時間が限られた日本語環境では、子供や学校だけでなく、親の積極的なサポートが不可欠であると身をもって知りました。

莉愛はその後も、通い続けていますが、さくら学園で学んだことを嬉しそうに話している姿を見ると、改めて通わせて良かったなと思います。

また、莉愛も賢士も「さくら学園が大好き」とよく口に、金曜日に「明日はさくら学園の日だね?」と言い、土曜日の朝に「今日はさくら学園だね?」と聞かれることがお約束になっています。実際、先生やお友達と一緒に日本語を学習することがとても楽しいようです。そうした楽しさを通じて、日本や日本の文化、風習に興味や関心を持つと共に、「アメリカではどうなのかな?」とか「〇〇(学校の友人がルーツの国)ではどうなのかな?」など、他の国にも思いを馳せている姿を見ると、物の見方に対する視野が広がってきたのでは、と感じます。

・今後はどのように継続していきたいとお考えですか?

・今後はどのように育ってほしいとお考えですか?

当地で産まれ日米両方の国籍を持つ莉愛と賢士ですが、両親が日本人である以上、そのベースは日本にあり、日本や日本人であることに誇りを持って生きて欲しいと考えています。

その為にも、今後も、さくら学園へ通う中で、日本語とその背景にある日本文化や風習を学習して、更に日本への深い理解と関心を持ってもらいたいと思います。

将来的に二人がどちらの国籍を選択して、どこへ住むことになるか分かりませんが、上述の学習を通して日本と日本人の良さ、美点を身につけることで、日米の架け橋となるような人間に育って欲しいと願っています。